



〒020-0023 岩手県盛岡市内丸11-1
TEL : 019-629-6366
FAX : 019-629-6354



岩手県立病院
専門研修ネットワーク
PROGRAM GUIDE BOOK
2024



01 WELCOME IWATE

岩手の医療はワンチーム # 守る地域医療

岩手の医療機関の特徴は、各病院が密接な連携をしているところです。この大きなネットワークを生かして総合的な医療から高度な専門性の医療までを網羅しています。一人ひとりが目指す医師像に最適な研鑽をつむことができます。



心 つながる いわて

INDEX

- 02 | 岩手県と医療
- 04 | わたしのキャリアパス
- 05 | 新専門医制度
- 06 | 専門研修を行うメリット
- 08 | 特集/ 対談・インタビュー
- 14 | 基本19領域・サブスペシャルティ領域一覧表
- 16 | 専門研修プログラム紹介
- 32 | 20の県立病院紹介
- 39 | 県立病院以外の施設



02

子育て世代の 充実したサポート体制

出産・育児など、仕事と家庭の両立に悩むことも多いでしょう。岩手県では岩手JOYサポートプロジェクトという支援制度があり、職場環境の改善やワークライフバランスとキャリアパスをサポートするための活動に励んでいます。

03 # 県立病院数全国1位。

岩手県立病院は20病院6地域診療センターあり、県立病院数は全国1位。
岩手県立病院のネットワークにより地域密着の医療体制と充実した専門研修を行うことができます。

二戸エリア



盛岡エリア



中部エリア



胆江エリア



住みよい いわて

豊かな自然と、歴史文化を色濃く残す街並み、温かな県民性。岩手県には「日本のふるさと」が残っています。各地域に根ざす岩手の医療ネットワークの中での研修は、地域性豊かな経験と知識を積み重ねてくれるでしょう。



伝統文化



ノスタルジックな 街並み



美食の宝庫!



癒やしの 絶景

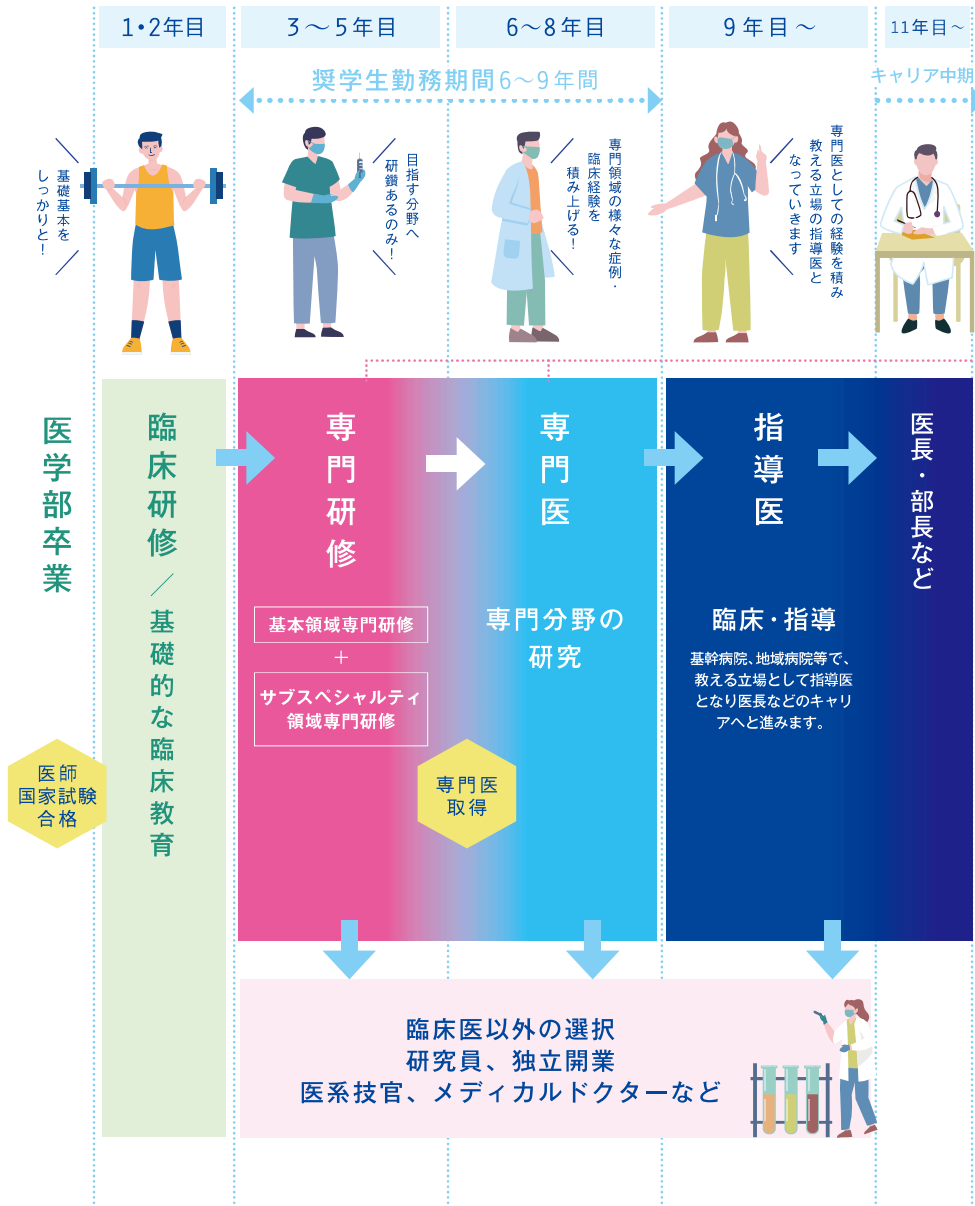


自然体験

名物三大種に、豊富な二陸の海の幸など、岩手は食と自然の宝庫。少し足を伸ばせば、温泉施設に森林キャンプなど癒やしの自然アクティビティも満載。充実した研修と、岩手県だからこその出来る経験をぜひ楽しんでみませんか。

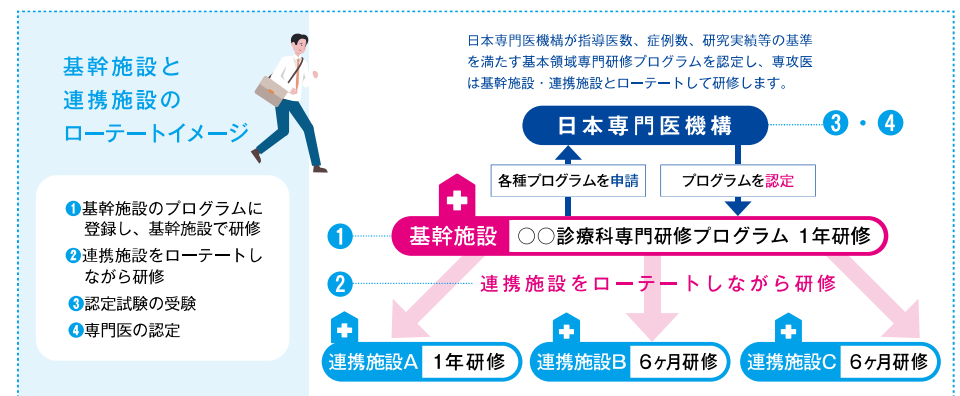
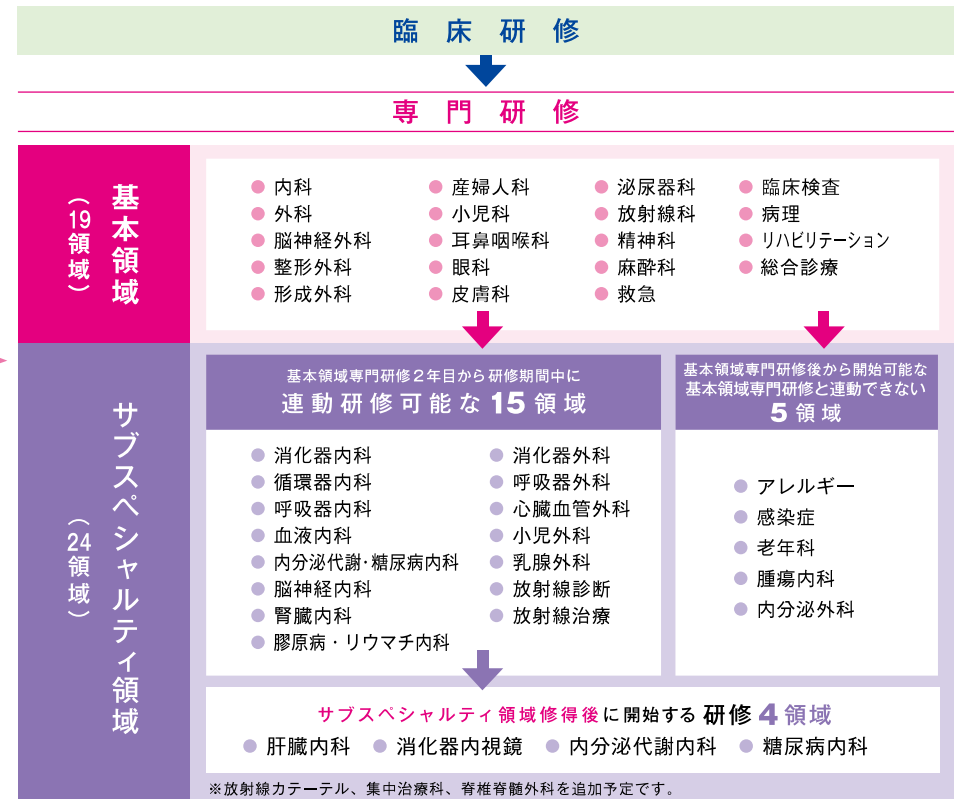
わたしのキャリアパス

医学部を卒業し、いよいよ自分の進む道にむかって歩き出します。
これから、医師としての研鑽をかさねる大切な時期、自分のやりたい事、なりたい姿をイメージしてみましょう。



新専門医制度

2018年4月に開始された新しい専門医制度は、県立病院などの基幹施設にて専門研修プログラムを行います。専門研修は「基本領域」と「サブスペシャリティ領域」の二つの領域を、基幹施設と、連携する施設を周りながら行います。技術の研鑽、知識の蓄積など、医師として大切な時期といえます。



岩手県立病院で専門医をめざそう！

merit 1

一人ひとりのキャリアプランに沿ったプログラムを実現

岩手県立病院の専門研修プログラムは幅広い領域を網羅。連携体制の拡充で、研修医一人ひとりのニーズにあった研修を受けることができます。

- ◆ 県立病院のネットワーク・スケールメリットを生かした指導体制により、充実した研修を実現
- ◆ 症例豊富な病院での研修や特色ある地域医療など経験できます



merit 4

ワークライフバランスを大切に。子育て世代医師の育児参加を応援！

岩手県立病院に勤務する女性医師と、男性医師の積極的な育児参加を応援し、ワークライフバランスとキャリアパスの実現をサポートします。出産育児・介護など様々な支援制度があります。

- 女性医師専用宿直室（シャワー室）有
- 女性医師専用休憩室も整備・順次拡大
- 24時間利用可能な院内保育所の設置
- 幼児等保育送迎
- 病児保育も順次拡大
- 時短勤務、部分休業
- 男性職員の育児参加休暇
- 介護休暇 など



merit 2

充実した保証

- ◆ 正規職員
地方公務員である県職員として身分を保障します
- ◆ 休暇制度が充実
夏季休暇などの特別休暇制度・採用時から有給休暇有ります
- ◆ 福利厚生も充実
医療費助成、保養施設利用補助金、球技大会など有ります



- ◆ 安定した給与
年収 1,000万円～1,200万円
(医師免許取得後3年目から5年目)
※時間外手当を除く

県立病院で
専門研修を行う

6つの
MERIT

CAREER
+ LIFE
SUPPORT

merit 5

柔軟な研修体制

研修カリキュラム制
(単位制)の導入

出産、育児、介護で一時的に休職しなければならない医師や、海外留学等で長期間研修を中断しなければならない医師の方に専門医が取れるよう設けられています。女性医師をサポートするプログラムとの併用も可能です。



merit 3

奨学金の義務履行と専門研修の両立

◆ 奨学生は県立病院に勤務しながら奨学金の義務履行と専門研修を両立できる！

○ 奨学金養成医師の基本配置ルール
6～9年間公的医療機関勤務
(医療局医師奨学金資金／岩手県医師研修資金／市町村医師養成修学資金)



いわて医学奨学金制度についてはこちらのQRコードからご確認ください

merit 6

学会出席助成が充実 キャリア形成を支援

- ◆ 学会出席旅費等
25万円補助（年間）
さらに専門医は3万円
- ◆ 専門研修指導医を目指す専門医は
6万円を加算（年間）



TALK SESSION

県立中央病院 消化器外科

岩手県立中央病院に勤務し、外科の指導医として活躍されている白田医師と、専攻医2年目の谷地医師に研修プログラムについて対談いただきました。

谷地 サブスペまで見据えた時、当初は消化器外科と脳神経外科と循環器外科を志望していたので、いずれの科も得意とする中央病院に決めました。

臨床研修から引き続き中央病院で専門研修を受けていて、臨床研修時に感銘を受けた先生から指導が受けられること、また馴染んだところでやれば、気持ちの面で楽な部分があります。

症例数がかなり多く、様々な経験ができるというのも中央病院を選んだ理由のひとつです。

白田 症例数でいうと、当院で2年間臨床研修をやって、その後専攻医を3年間やって終わる頃には、だいたい400件から450件の手術をやっているんですよ。例年、みな同じくらいの件数です。



白田 昌広

長野県出身
岩手県立中央病院 副院長心得
診療支援部長
中央手術部次長
消化器センター長
消化器外科長
平成6年3月 東北大学 卒業
6年6月 国立水戸病院 外科研修医
14年4月 東北大学大学院 卒業
14年4月 東北大学 勤務
15年10月 岩手県立中央病院 勤務

豊富な症例が
魅力でした

谷地 涼介
専攻医



学びつつ、かつ即戦力。

谷地 手技だったり、手術でも臨床でも、そこに向かって進んでいけばいいんだというのが示されています。

白田 私みたいに30年近くやっている人間もいれば、10年目や20年目の医師もいる。同じ専攻医の先輩もいるしね。何年後にどの段階にいなきゃいけないかが見える。

谷地 一番近い目標というか、次の段階が先輩のところなんだと考えて、先輩の背を見ながら、追いつけ追い越せと。目標にしている部分はありますね。

学びつつ、即戦力

谷地 当院では外傷症例を扱うことがあまりないのですが、連携施設の県立大船渡病院では、かなり重症の外傷症例も経験しました。

向こうで学びを得てこちらに持ち帰るという面で、連携施設での修練はとても有意義です。

白田 学びつつ、かつ即戦力。頼りながら学ぶことも多いよね。

谷地 こちらで学んできたことを外の病院で実践できるかどうか。まだまだ

なんだなと痛感したこともありましたが、これだけできるようになっているんだと実感したこともありました。

白田 基幹病院とは違った地域ならではの患者層やニーズがある。その病院に求められている地域のニーズ。

日常生活がある中、仙台とか盛岡とか都市部に行くことが難しく、地方でしか治療を受けられない人もいます。連携施設の医師も地域のニーズを満たすように仕事をしているから、地域に必要なことを専攻医に教えていると思う。すごく学べているんじゃないかな。

奨学金の義務履行と専門研修プログラムの両立

谷地 将来地方の病院に行って、まんべんなく診るとなった時のために、今からでも広く勉強したいという気持ちはあります。一方で専門の方向を決めて、そこを極めたいという理想も。

今は奨学金の義務履行を終えつつ、大学院の履修も終えたいと思っています。うまくバランスをとりながらや

対談

白田 昌広
指導医・消化器外科長



指導医と専攻医が
学び合える環境を

情報共有でレベルアップ

ろうと思っているので、白田先生に相談にのっていただき、計画を整えています。

白田 岩手県の県立病院プログラムはお互いを連携施設にしているの、他の病院に行くことによって、奨学金の義務履行と同時に専門研修プログラムをこなすことができる。自分のキャリアをあきらめることなく、両立できる体制ですね。

情報共有で強い組織に

白田 指導医として、専攻医が何を求めているかを常に考えています。自分は、若い頃にこういう指導してもらったらよかったなというのがありますが、たまたま当たった一人の指導医に左右されるのではなくて、科とし

て全体で育てていかないといけない。医療が進化するのと同時にわれわれ指導医も進化することで、若い医師たちにしっかりしたトレーニング環境を提供できるんじゃないかなと。

そのためにも「情報共有」がすごく大切。毎朝カンファレンスをやっているし、昔はなかったけど、ビデオカンファレンスをやったり。

谷地 朝のカンファレンスでは、みんな活発に意見を言いますね。

白田 夜中に若い先生が呼ばれて患者さんの対応をする。その時もちゃんと相談できる指導医をつけて2人体制にはしているけど、翌朝、その症例をみんなの目で見て、みんなで一緒に考えていく。こういう判断をして手術をしたけど、実際はどうだったのかというのを画像を見ながら。僕なんて30年の経験があっても、そういう見方も

あるのか、なるほど、と思うこともあるので。自分自身も毎日勉強だと思ってる。

このような積み重ねが組織全体を強くするし、トレーニングしてる先生もレベルを上げていく。研修医、専攻医も含めてみんなでやっていると、うちのいいところじゃないかな。

負けず嫌いで熱い気持ちを持った人、ぜひ来てほしい

白田 とにかく負けず嫌いで、向上心のある人に来てほしい。そういう人であれば、我々と一緒にやることで様々なキャリアプランを作っていく、将来が見えると思います。

やっぱり医療っていうのは大変なものです。どうしても外せないことがあると思う。だから、熱い気持ちでやれる人にぜひ来てほしいです。われわれ指導医も熱い気持ちでやっています。



外科専門研修の詳細は22ページをご確認ください。

MY CAREER PATH



谷地 涼介

岩手県九戸村出身
H31年3月
東北大学 卒業
専攻医 2年目
※取材当時

臨床研修

H31年4月～R3年3月
県立中央病院

専門研修・サブスぺ

(R3年4月～現在2年目)
R3年4月 県立中央病院 勤務
6月 県立大船渡病院 兼務
8月 県立大東病院 兼務
9月 県立中央病院 勤務
R4年4月 県立大船渡病院 兼務
9月 県立中央病院 勤務
12月 県立大船渡病院 兼務

専門医

目指せ！
外科専門医



岩手県立胆沢病院

消化器内科 指導医 / 県立胆沢病院副院長

かや ば しょう いち
萱場 尚一

岩手の地で更なる高みを目指して

岩手県立胆沢病院 消化器内科 指導医
萱場医師に胆沢病院の特色や魅力、地域で担う役割についてお聞きしました。

高まる内視鏡治療のニーズ

当院の消化器内科の最大の特徴は、沢山の症例数に基づいた豊富な治療件数です。特に内視鏡治療の件数は、診療圏人口に対して群を抜いて多いため、専攻医の先生方にもなるべく検査や治療に携わってもらい、数多くの経験を積んでもらうことを意識しています。

現在の超高齢化社会においては、侵襲の大きな治療にはとても耐えられないような方々が救急疾患を抱えて次々病院を訪れます。消化器疾患の治療を受ける患者さんも、以前に比べ年齢層が着実に上がって来ており、外科手術を選択するよりは内科的治療を選ぶことが増えていきます。消化器内視鏡は日進月歩で、身体的な負担が少ないにも関わらず次々新しい治療が生まれ、これからもニーズの多い分野だと実感しています。消化管癌に対するESDはもちろんのこと、胆膵疾患に対する内視鏡治療、緩和的な超音波内視鏡下手術も、当科では都会の病院にひけ

を取らない治療実績を誇っています。広大な岩手県においては移動距離の問題があり、当院受診にも長時間を要する方が多いのですが、奥州市を含むここ胆沢地区は胆沢病院を信頼してくれる患者さんが集まっている印象で、出来るだけその想いに応えるべく、最新かつ適切な治療をこの地域で提供し続けたいと考えています。

先進的な医療をめざし教育熱心な土壌

もともと胆沢病院には教育熱心な土壌があって、沢山の研修医達を育てて来ました。どの科であっても実践中心の研修教育を行っており、他の病院と比べてかなり早い段階から手技的なことを含め患者さんとの対応を求められます。うまくいかないことも多々ありますが、フォローをきちんと行い次に繋がるように指導しています。

また地方病院ではありますが、手術室に手術ロボットダビンチが導入されていたり、消化器内科の治療件数が全国有数であったりと、先進的な医療を各科が目指しているのも当院の特徴です。

地域と連携しキャリアパスを支援

近年は奨学金を借りている若手医師も多く存在しているので、その進路に気を配っています。奨学金の義務履行に配慮しつつ、専門医取得など今後のキャリアパスを考慮して、中核病院である当院と近隣の中小規模病院との連携を深めているところです。県医療局や各病院、指導医などと相談しながら、岩手の地で更なる高みを目指すように、一緒に歩んでいきたいと思います。



萱場 尚一

仙台市出身
平成4年3月 岩手医科大学 卒業
4年6月 東北労災病院 臨床研修医
6年4月 東北大学消化器内科 大学院
10年4月 岩手県立胆沢病院 勤務
平成19年4月 東北大学消化器内科 臨床准教授
令和3年4月 岩手県立胆沢病院 副院長
令和5年4月 東北大学消化器内科 臨床教授

内科専門研修の詳細は
17~19ページをご確認ください。



子育てと医療研修の両立ができる岩手のサポート体制や自分らしく研修をするコツをお話頂きました。

子育てと両立できる環境が魅力

産婦人科 専攻医 玉田 春紫

専門医の資格は、今後のキャリアのために必要なものだと思っていて、研修と育児をどう両立していこうかと初めから考えていました。

県立病院の専門研修プログラムは、岩手県職員として採用されるので、福利厚生もしっかりしていて様々なサポートが受けられます。研修医の最後の年に出産し、産後3ヶ月で仕事に復帰したのですが、県立病院の保育所は本当に良くて、特に中央病院内のあゆみ保育所は、日本一の保育所だとわたしは思っています！育児もとれましたし、子どもの予防接種のために看護休暇があって、時間単位で休みがとれたり。妊娠、出産、子育てを

しながらでも、安心して研修できる環境が整えられています。

研修プログラムは、自分の学びたいことに合わせて、その都度ローテーションを組むことができます。中央病院の小児・周産期センターでしか診られないお産もありまして、生殖医療は大学病院でしか診られないので、早い段階で3か月間大学病院にも研修に行きました。今は、県立病院の保育所は本当に良くて、特に中央病院内のあゆみ保育所は、日本一の保育所だとわたしは思っています！育児もとれましたし、子どもの予防接種のために看護休暇があって、時間単位で休みがとれたり。妊娠、出産、子育てを

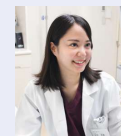
プログラムの多様さがいいですね。

行く先々で、子育てをしながら仕事にされているロールモデルのような先輩にお会いできたのも良かったです。

専門医を志す人は、手術がやりたい、症例が欲しい、ガッツリ勉強したいという人が多いかもしれませんが、私が優先したいのは、家庭や子育て。何に重きを置くかは人それぞれです。私らしくコツコツ積み上げて、臨床の場から離れないことが大事かなと思っています。みんなの力を借りながら、今、専門医を目指しています！

産婦人科専門研修の詳細は
24ページをご確認ください。

MY CAREER PATH



玉田 春紫

静岡県出身
H31年3月 県立中央病院 勤務
7月 岩手医科大学 卒業
専攻医 2年目
※取材当時

臨床研修

H31年4月~R3年3月
県立中央病院

専門研修・サブスベ

(R3年4月~現在2年目)
R3年4月 県立中央病院 勤務
7月 岩手医科大学附属病院 研修
R4年10月 県立中部病院 兼務

専門医

目指せ！
産婦人科専門医



麻酔科専門医となった村上医師と、研修プログラム真っただ中の工藤医師。研修病院選びや、専攻医のうちにやっておくべきこと、麻酔科医の働き方についての本音トークです。

工藤 麻酔科は、全身を診て管理、調節していくのが魅力だなと思っています。各手術室に麻酔科医は基本ひとり。それがすごく頼もしい。

村上 麻酔科医はひとり立ちが早いといわれているからね。

工藤 専門医を取得するために経験しなければならぬ症例がいくつかありますが、ひとつの病院で全て完結するのが、岩手県立中央病院。症例が圧倒的に多いので、基幹施設に選んでよかったです。県内では1、2番くらいに麻酔科医が集まっている病院なので、今は先輩に付いてもらいながら、毎日麻酔をしています。何かあった時にすぐ頼れる人がいるというのは、専攻医としてはすごく助かる環境です。

村上 今日も一緒に手術に入っていました。

工藤 臨床研修や専門研修は大きい病院でやったほうが良いと思っています。私は仕事中、一辺倒な考えになりがちなんですけど、周りに同期も指導医も先輩方も多いところだと、いろんな考えを知ることができるのでよかったです。

村上 目的は一緒なんだけど、麻酔にはいろいろな手段があって。安全に手術が終わるよう考えて、それぞれの麻酔科医がやっている。全然違う麻酔をしているんだけど、安全に手術が行われているならば、それも正解だし、自分たちがやっているのも間違いではない。麻酔のおもしろいところだね。ひとつの方法だけを一家相伝で引き継いでいくというよりは数を見て、あの人はこう、この人はこの方法というのを知る。それによって、最終的に自分の形をどうしようかと考えると、麻酔方法自体がより良くなっていくんじゃないかな。

工藤 みんなのやり方をたくさん見るこ

とは専攻医の頃にしておくべきですね。

工藤 専門研修が終わったあと、県立釜石病院や県立宮古病院ではどんな感じですか？今後わたしもお世話になる病院かもしれないので伺いたいです。

村上 現在は週3日、県立釜石病院に行って、1日は県立中央病院、もう1日は県立宮古病院での勤務。宮古で多い時には1日6件の手術に入ることもある。中央病院だと先輩に聞いたりできるけど、地方の病院では、自分が先導して、自分で解決しないといけない。でも、それがいい経験になっていると思う。

村上 医師のQOLにも関わってくるけど、麻酔科は当番制がしっかりしているのだから、それ以外で呼ばれることってめったにない。オンオフがはっきりしている科だよな。いちばん公務員らしい働き方も。

工藤 確かに。今、私たち公務員でもあるのね。

麻酔科専門研修の詳細は27ページをご確認ください。



総合診療科は扱う範囲が広くて勉強の難しい分野ですが、どこに行っても一般内科として働けるのが魅力です。ひとつ上の先輩のところに話を聞きに行き、実際に働く姿を見たり、知識の広い先輩に憧れ、中部病院に決めました。

当院の場合は、来院の仕方が「救急」と「外来」のふたつです。ひとつは当科が救急を担当しているので、そのまま入院管理にもっていく。もうひとつは地域の開業医からの紹介で、具合が悪いけどどの科に行けばいいか判断がつかない時の外来です。

発熱での外来が多いのですが、熱を詳しく診て、血液疾患や白血病、リンパ腫を見つけて専門治療につなげた症例がいくつかありました。様々な状態から診断を見極め、必要があれば他科と連携しながら診療を進めるというところにやりが

いを感じます。科の垣根にとらわれずに、自分の管理したい疾患や診たいものを制限なく経験できることも魅力ですね。

他科の先生にコンサルトして、連携しながらやることが多いので、コミュニケーションをとって柔軟に対応できる人が向いていると思います。

患者さんの中には、医学的な治療だけでなく、生活の背景とかお金の問題とか家族の問題とか、複雑な問題を抱えている方も多いので、「人全体を診る」という感じ。話を聞く力もかなり問われますね。

プログラムの一環で、東和病院や地域の中小規模の病院にいたこともあり、外來もやるし、入院管理や訪問診療もやって、より地域の問題に寄り添った研修ができました。

診断困難な症例を突き詰めていくような

「病院の総合診療」よりも、ゆくゆくは訪問診療をメインにして家庭医方面で働きたいと考えています。

そうなってくると褥瘡とか外科系の知識も必要になります。なんでも揃っている病院とは違い、家族のサポートがどこまでできるかを考える必要も出てきて、また違った難しさがあると感じました。

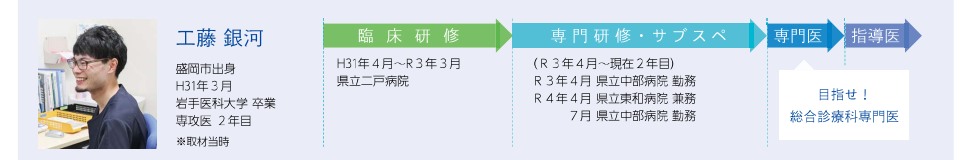
岩手医科大学も含めて県内統一となった新しい総合診療プログラムは、県全体の施設が研修対象になり、キャリアプランに合わせて選択肢が広がりました。病院によってやり方や雰囲気が違うと思うので、ぜひ私のところに見学に来てください総合診療科の良さが伝わると確信しています。

総合診療科専門研修の詳細は30～31ページをご確認ください。

MY CAREER PATH



MY CAREER PATH



専門研修プログラム

1 内科 P17

県立中央病院・県立中部病院・県立胆沢病院
県立磐井病院・県立宮古病院

2 小児科 P20

3 皮膚科 P20

4 精神科 P21

県立南光病院

5 外科 P22

県立中央病院

6 整形外科 P23

県立中央病院

7 産婦人科 P24

県立中央病院

8 眼科 P24

9 耳鼻咽喉科 P25

10 泌尿器科 P25

11 脳神経外科 P26

12 放射線科 P26

13 麻酔科 P27

県立中央病院

14 病理 P28

15 臨床検査 P28

16 救急科 P29

県立中央病院

17 形成外科 P29

18 リハビリテーション科 P29

19 総合診療科 P30

県立中部病院

岩手県立病院は **8基本領域**
6病院が基幹施設 になっています

① 内科

※臨床研修時の症例も認められる場合があります。
詳しくは各病院へ確認してください。

P32 県立中央病院		岩手県立中央病院内科専門研修プログラム											研修期間 3年	募集人数 12名				
基幹病院/連携施設		研修可能な領域											福利厚生					
		総内	消内	循環	内分	代謝	腎臓	呼吸	血液	神経	アレルギー	膠原	感染	救急	保育	宿舎		
県立中央病院 (P32)		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○
連携施設	県立中部病院 (P33)	●	●	●	●	●	▲	●	●	●	▲	▲	●	●	●	●	○	○
	県立遠野病院 (P36)	●	●	●	●	●	▲	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○
	県立東和病院 (P36)	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	○
	県立胆沢病院 (P33)	●	●	●	▲	▲	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○
	県立江刺病院 (P37)	●	●	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	○
	県立磐井病院 (P34)	●	●	●	▲	▲	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	○
	県立千厩病院 (P37)	●	●	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	○
	県立大東病院 (P37)	●	●	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	○
	県立大船渡病院 (P35)	●	●	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	○
	県立高田病院 (P37)	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	○
	県立釜石病院 (P35)	●	●	●	●	●	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	○
	県立宮古病院 (P34)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○
	県立久慈病院 (P36)	●	●	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	○
県立二戸病院 (P36)	●	●	●	●	●	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	○	
県立一戸病院 (P38)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	
県立軽米病院 (P38)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	

【プログラムローテーション例】	1年	2年	3年	4年
	内科標準タイプ	基幹 内科8科	連携 内科全般	基幹 内科8科
サブスベ重点研修タイプ	基幹 サブスベ	基幹 内科全般	連携 内科全般	
内科・サブスベ混合タイプ	基幹 サブスベ	連携 内科全般	基幹 内科全般	連携 内科全般

【取得可能サブスベ診療科】
 ・血液内科
 ・腎臓内科
 ・膠原病リウマチ科
 ・消化器内科
 ・消化器内視鏡
 ・糖尿病内科
 ・内分泌代謝内科
 ・循環器内科
 ・呼吸器内科
 ・脳神経内科
 ・腫瘍内科

【他連携施設 (県内外)】
 【県内】 国立病院機構盛岡医療センター、川久保病院、八幡平市立病院、国保岩巻病院、坂の上野田村大志クリニック、西和賀さわうち病院、済生会岩泉病院、国保種市病院
 【県外】 東北大学病院、秋田大学附属病院、仙台市立病院、JCHO 仙台病院、国立循環器病研究センター、東京都立駒込病院、東北医科大学病院、国立病院機構大原医療センター、京都第一赤十字病院、八戸市立市民病院

P33 県立中部病院		岩手県立中部病院内科専門研修プログラム											研修期間 3年	募集人数 3名			
基幹病院/連携施設		研修可能な領域											福利厚生				
		総内	消内	循環	内分	代謝	腎臓	呼吸	血液	神経	アレルギー	膠原	感染	救急	保育	宿舎	
県立中部病院 (P33)		●	●	●	●	●	▲	●	●	●	●	▲	▲	●	●	○	○
連携施設	県立中央病院 (P32)	●	●	●	●	●	▲	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○
	県立遠野病院 (P36)	●	▲	▲	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	○
	県立東和病院 (P36)	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	○
	県立江刺病院 (P37)	●	●	●	▲	▲	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	○
	県立高田病院 (P37)	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	○
	県立釜石病院 (P35)	▲	▲	●	●	●	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	○
	県立大槌病院 (P38)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○
	県立軽米病院 (P38)	●	●	●	●	●	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	○
	県立二戸病院 (P36)	●	●	●	●	●	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	○
	県立宮古病院 (P34)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○
県立大船渡病院 (P35)	●	●	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	○	
県立胆沢病院 (P33)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	
県立磐井病院 (P34)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	

【プログラムローテーション例】	1年	2年	3年
	内科標準タイプ	基幹 内科系診療科	
サブスベ重点研修タイプ	基幹 サブスベ	基幹 内科全般	連携 内科全般

【取得可能サブスベ診療科】
 ・消化器内科
 ・循環器内科
 ・糖尿病内科

【他連携施設 (県内外)】 【県内】 西和賀さわうち病院 【県外】 東北大学病院

内科
小児科
精神科
外科
整形外科
産婦人科
眼科
耳鼻咽喉科
泌尿器科
脳神経外科
放射線科
麻酔科
病理
臨床検査
救急科
形成外科
リハビリテーション科
総合診療科

② 小児科

P39 岩手医科大学附属病院	岩手医科大学附属病院小児科専攻医プログラム	研修期間 3年	募集人数 9名						
基幹病院／連携施設	研修可能なサブ領域				病床数	外来数	入院数	指導医数	福利厚生 保育 宿舎
	小児循環器	小児神経	小児血液	周産期					
県立中央病院 (P32)	●	●	●	●	685	9,199	4,261	5	○ ○
県立中部病院 (P33)	●	●	●	●	434	6,479	6,048	3	○ ○
県立磐井病院 (P34)					315	7,900	4,180	3	○ ○
県立大船渡病院 (P35)	●	●	●	●	489	10,883	3,264	1	○ ○
県立釜石病院 (P35)	●	●	●	●	272	9,258	572	1	○ ○
県立宮古病院 (P34)	●	●	▲	●	334	5,813	2,424	1	○ ○
県立久慈病院 (P36)					334	9,271	240	1	○ ○
県立二戸病院 (P36)			●		253	3,637	1,557	1	○ ○
他連携施設 (県内外)	【県内】 盛岡赤十字病院、北上済生会病院、岩手県立教育センター、川久保病院、みちのく教育園、国立病院機構盛岡医療センター 【県外】 八戸赤十字病院、かつの厚生病院、昭和大学病院、昭和大学横浜市北部病院、昭和大学藤が丘病院、昭和大学江東豊洲病院								

東北大学病院	東北大学小児科専門研修プログラム	研修期間 3年	募集人数 15名						
基幹病院／連携施設	研修可能なサブ領域				病床数	外来数	入院数	指導医数	福利厚生 保育 宿舎
	小児循環器	小児神経	小児血液	周産期					
県立中央病院 (P32)	●	●	●	●	685	9,199	4,261	2	○ ○

弘前大学医学部附属病院	弘前大学医学部附属病院小児科研修医(専攻医)プログラム	研修期間 3年	募集人数 10名						
基幹病院／連携施設	研修可能なサブ領域				病床数	外来数	入院数	指導医数	福利厚生 保育 宿舎
	小児循環器	小児神経	小児血液	周産期					
県立中部病院 (P33)	●	●	●	●	434	6,479	6,048	3	○ ○

東北医科薬科大学病院	東北医科薬科大学小児科専門プログラム	研修期間 3年	募集人数 3名						
基幹病院／連携施設	研修可能なサブ領域				病床数	外来数	入院数	指導医数	福利厚生 保育 宿舎
	小児循環器	小児神経	小児血液	周産期					
県立中央病院 (P32)	●	●	●	●	685	9,199	4,261	5	○ ○

③ 皮膚科

P39 岩手医科大学附属病院	岩手医科大学皮膚科研修プログラム	研修期間 5年	募集人数 6名						
基幹病院／連携施設	研修可能な想定されるサブ領域			病床数	外来数	入院数	手術数 (全麻)	指導医数	福利厚生 保育 宿舎
	アレルギー	感染症	悪性腫瘍						
県立中央病院 (P32)	●	●	●	685	10,881	1,526	9	1	○ ○
県立中部病院 (P33)	●	●	▲	434	4,305	1,725	21	1	○ ○
県立磐井病院 (P34)	▲	▲	▲	315	6,230	106	—	1	○ ○
他連携施設 (県内)	【県内】 盛岡赤十字病院、赤坂病院								

東北大学病院	東北大学皮膚科専門研修プログラム	研修期間 5年	募集人数 10名						
基幹病院／連携施設	研修可能な想定されるサブ領域			病床数	外来数	入院数	手術数 (全麻)	指導医数	福利厚生 保育 宿舎
	アレルギー	感染症	悪性腫瘍						
県立胆沢病院 (P33)	▲	●	●	346	6,059	643	13	1	○ ○

④ 精神科

P35 県立南光病院	岩手県立南光病院連携施設精神科専門医研修プログラム	研修期間 3年	募集人数 3名									
基幹病院／連携施設	研修可能な専門領域						病床数	外来数	入院数	指導医数	福利厚生 保育 宿舎	
	統合失調症	気分障害	行動障害	器質性精神障害	思春期	神経障害	パーソナリティ障害					
県立南光病院 (P35)	●	●	●	●	●	●	●	359	32,917	65,754	5	○ ○
県立一戸病院 (P38)	●	●	●	●	●	●	●	199	22,409	38,108	3	○
【プログラムローテーション例】	1年						2年		3年			
連携施設半年コース	基幹			連携			基幹					
連携施設1年コース	基幹						連携		基幹			
他連携施設 (県内)	【県内】 岩手医科大学附属病院、岩手県立一戸病院、国立病院機構花巻病院、平和台病院、未来の風せいわ病院											

P39 岩手医科大学附属病院	岩手医科大学附属病院連携施設精神科専門医研修プログラム	研修期間 3年	募集人数 10名									
基幹病院／連携施設	研修可能な専門領域						病床数	外来数	入院数	指導医数	福利厚生 保育 宿舎	
	統合失調症	気分障害	行動障害	器質性精神障害	思春期	神経障害	パーソナリティ障害					
県立中央病院 (P32)	●	●	●	●	●	●	●	685	1,452	—	1	○ ○
県立南光病院 (P35)	●	●	●	●	●	●	●	359	32,917	65,754	5	○ ○
県立一戸病院 (P38)	●	●	●	●	●	●	●	199	22,409	38,108	3	○
他連携施設 (県内)	【県内】 未来の風せいわ病院、盛岡観山荘病院、平和台病院、宮古山口病院、北リアス病院、三陸病院											

東北大学病院	東北大学病院連携施設精神科専門研修プログラム	研修期間 3年	募集人数 10名									
基幹病院／連携施設	研修可能な専門領域						病床数	外来数	入院数	指導医数	福利厚生 保育 宿舎	
	統合失調症	気分障害	行動障害	器質性精神障害	思春期	神経障害	パーソナリティ障害					
県立南光病院 (P35)	●	●	●	●	●	●	●	359	32,917	65,754	5	○ ○

秋田大学医学部附属病院	秋田大学医学部附属病院連携施設精神科専攻医研修プログラム	研修期間 3年	募集人数 8名									
基幹病院／連携施設	研修可能な専門領域						病床数	外来数	入院数	指導医数	福利厚生 保育 宿舎	
	統合失調症	気分障害	行動障害	器質性精神障害	思春期	神経障害	パーソナリティ障害					
県立南光病院 (P35)	●	●	●	●	●	●	●	359	32,917	65,754	5	○ ○

⑦ 産婦人科

P32 県立中央病院	岩手県立中央病院産婦人科専門研修プログラム							研修期間 3年	募集人数 3名			
基幹病院／連携施設	研修可能な専門領域				病床数	外来数	入院数	手術数 (全麻)	分娩数	指導医数	福利厚生	
	生殖・内分泌	腫瘍	周産期	ヘルスケア							保育	宿舎
県立中央病院 (P32)	●	●	●	●	685	16,974	12,991	331	355	2	○	○
連携施設 県立中部病院 (P33)	●	●	●	●	434	9,012	8,592	143	546	2	○	○
県立大船渡病院 (P35)		●	●		489	12,359	7,468	182	374	1	○	○
県立宮古病院 (P34)		●	●		334	8,615	5,426	105	256	1	○	○
県立二戸病院 (P36)		●	●		253	8,318	4,533	60	255	1	○	○

【プログラムローテーション例】

標準タイプ	1年 基幹 産婦	2年 基幹 産婦	3年 連携 産婦 岩手医科大学
-------	-------------	-------------	-----------------------

他連携施設 (県内) 【県内】 岩手医科大学附属病院

P39 岩手医科大学附属病院	岩手医科大学産婦人科専門研修プログラム							研修期間 3年	募集人数 7名			
基幹病院／連携施設	研修可能な専門領域				病床数	外来数	入院数	手術数 (全麻)	分娩数	指導医数	福利厚生	
	生殖・内分泌	腫瘍	周産期	ヘルスケア							保育	宿舎
県立中央病院 (P32)	●	●	●	●	685	16,974	12,991	331	355	2	○	○
県立中部病院 (P33)	●	●	●	●	434	9,012	8,592	143	546	2	○	○
県立磐井病院 (P34)	●			●	315	9,461	10,572	198	578	1	○	○
県立大船渡病院 (P35)		●	●		489	12,359	7,468	182	374	1	○	○
県立宮古病院 (P34)		●	●		334	8,615	5,426	105	256	1	○	○
県立二戸病院 (P36)			●		253	8,318	4,533	60	255	1	○	○

他連携施設 (県内外) 【県内】 盛岡赤十字病院、北上済生会病院 【県外】 八戸赤十字病院

東北大学病院	東北大学産婦人科研修プログラム							研修期間 3年	募集人数 20名			
基幹病院／連携施設	研修可能な専門領域				病床数	外来数	入院数	手術数 (全麻)	分娩数	指導医数	福利厚生	
	生殖・内分泌	腫瘍	周産期	ヘルスケア							保育	宿舎
県立中部病院 (P33)	●	●	●	●	434	9,012	8,592	143	546	2	○	○
県立磐井病院 (P34)	●	●	●	●	315	9,461	10,572	198	578	1	○	○

⑧ 眼科

P39 岩手医科大学附属病院	岩手眼科専門研修プログラム							研修期間 4年	募集人数 3名			
基幹病院／連携施設	研修可能な専門領域					病床数	外来数	入院数	手術数 (全麻)	指導医数	福利厚生	
	角結膜	緑内障	白内障	網膜硝子体 ぶどう膜炎	屈折矯正 弱視斜視						神経眼科 眼整形	保育
県立中央病院 (P32)	●	●	●	●	●	685	5,229	669	○	○		
県立中部病院 (P33)	●	●	●	●	●	434	7,963	659	○	○		
県立磐井病院 (P34)	●	●	●	●	●	315	4,088	297	○	○		
県立大船渡病院 (P35)	●	●	●	●	●	489	12,764	301	○	○		
県立久慈病院 (P36)	●	●	●	●	●	334	16,618	533	○	○		
県立二戸病院 (P36)	●	●	●	●	●	253	12,864	405	○	○		

他連携施設 (県内外) 【県内】 盛岡赤十字病院、北上済生会病院、盛岡市立病院、岩手医科大学附属内丸メディカルセンター 【県外】 昭和大学病院、慶應義塾大学病院、国立成育医療研究センター

⑨ 耳鼻咽喉科

P39 岩手医科大学附属病院	岩手医科大学附属病院 耳鼻咽喉科専門研修プログラム							研修期間 4年	募集人数 3名	
基幹病院／連携施設	研修可能な専門領域			病床数	外来数	入院数	手術数 (全麻)	指導医数	福利厚生	
	頭頸部ガン	アレルギー	気管食道						保育	宿舎
県立中央病院 (P32)	●	●	●	685	5,832	2,092	215	1	○	○
県立中部病院 (P33)	●	●	●	434	3,623	939	102	1	○	○
県立胆沢病院 (P33)	▲	▲	▲	346	3,319	334	39	1	○	○

他連携施設 (県内) 【県内】 盛岡赤十字病院

⑩ 泌尿器科

P39 岩手医科大学附属病院	岩手医科大学泌尿器科専門研修プログラム							研修期間 4年	募集人数 7名		
基幹病院／連携施設	研修可能な想定されるサブスペ領域				病床数	外来数	入院数	手術数 (全麻)	指導医数	福利厚生	
	生殖	透析	腎臓	感染症						保育	宿舎
県立中央病院 (P32)			●	●	685	10,021	5,929	221	2	○	○
県立中部病院 (P33)			●	●	434	14,714	6,044	259	2	○	○
県立胆沢病院 (P33)	▲		●	●	346	19,533	11,247	459	3	○	○
県立磐井病院 (P34)			▲	●	315	5,702	2,288	123	1	○	○
県立大船渡病院 (P35)		●	●	●	489	22,866	6,163	131	1	○	○
県立釜石病院 (P35)	●	●	●	●	272	13,233	4,810	68	1	○	○
県立宮古病院 (P34)		●	●	●	334	14,912	5,594	39	1	○	○
県立久慈病院 (P36)		●	●	●	334	22,077	3,568	91	1	○	○
県立二戸病院 (P36)	●	●	●	●	253	7,109	2,010	18	1	○	○

他連携施設 (県内外) 【県内】 盛岡赤十字病院、奥州市総合水沢病院、三菱病院、後藤泌尿器科皮膚科医院 【県外】 福島県立医科大学附属病院、八戸赤十字病院、竹田総合病院、能代厚生医療センター、公立相馬総合病院、昭和大学病院、昭和大学藤が丘病院、昭和大学横浜市北部病院、昭和大学江東豊洲病院

東北大学病院	東北大学泌尿器科専門研修施設群 専門研修プログラム							研修期間 4年	募集人数 10名		
基幹病院／連携施設	研修可能な想定されるサブスペ領域				病床数	外来数	入院数	手術数 (全麻)	指導医数	福利厚生	
	生殖	透析	腎臓	感染症						保育	宿舎
県立磐井病院 (P34)			▲	●	315	5,702	2,288	123	1	○	○

秋田大学医学部附属病院	あきた泌尿器科専門研修プログラム							研修期間 4年	募集人数 7名		
基幹病院／連携施設	研修可能な想定されるサブスペ領域				病床数	外来数	入院数	手術数 (全麻)	指導医数	福利厚生	
	生殖	透析	腎臓	感染症						保育	宿舎
県立胆沢病院 (P33)	▲	●	●	●	346	19,533	11,247	459	3	○	○

東北大学医科薬科大学病院	東北医科薬科大学泌尿器科専門研修プログラム							研修期間 4年	募集人数 4名		
基幹病院／連携施設	研修可能な想定されるサブスペ領域				病床数	外来数	入院数	手術数 (全麻)	指導医数	福利厚生	
	生殖	透析	腎臓	感染症						保育	宿舎
県立中央病院 (P32)			●	●	685	10,021	5,929	221	2	○	○
県立大船渡病院 (P35)	●	●	●	●	489	22,866	6,163	131	1	○	○

内科
小児科
歯科
精神科
外科
整形外科
産婦人科
眼科
耳鼻咽喉科
泌尿器科
脳神経外科
放射線科
麻酔科
病理
臨床検査
救急科
形成外科
リハビリテーション科
総合診療科

11 脳神経外科

P39 岩手医科大学附属病院	岩手医科大学脳神経外科専門研修プログラム	研修期間 4年	募集人数 5名				
基幹病院／連携施設	研修可能な専門領域	病床数	外来数	入院数	手術数 (全麻)	指導医数	福利厚生 保育 宿舎
	脳腫瘍 脳血管障害 頭部外傷 脊椎脊髄 小児 機能 地域医療						
県立中部病院 (P33)	● ● ●	434	3,315	7,660	72	2	○ ○
県立大船渡病院 (P35)	● ● ● ● ● ● ●	489	5,148	9,584	45	1	○ ○
県立釜石病院 (P35)	● ● ● ● ● ● ●	272	1,871	—	—	1	○ ○
県立宮古病院 (P34)	● ● ● ● ● ● ●	334	2,661	6,090	7	1	○ ○
県立久慈病院 (P36)	● ● ● ● ● ● ● ▲	334	3,744	5,178	5	3	○ ○
県立二戸病院 (P36)	● ● ● ● ● ● ● ●	253	3,754	2,357	12	3	○ ○
他連携施設 (県内外)		【県内】盛岡赤十字病院 【県外】北里大学、八戸赤十字病院、かつの厚生病院、能代厚生医療センター					

東北大学病院	脳神経外科専門研修 東北大学大学院医学系研究科プログラム	研修期間 4年	募集人数 10名				
基幹病院／連携施設	研修可能な専門領域	病床数	外来数	入院数	手術数 (全麻)	指導医数	福利厚生 保育 宿舎
	脳腫瘍 脳血管障害 頭部外傷 脊椎脊髄 小児 機能 地域医療						
県立中央病院 (P32)	● ● ● ● ● ● ● ●	685	4,696	12,439	345	3	○ ○
県立胆沢病院 (P33)	▲ ● ● ● ● ● ● ●	346	4,105	5,482	26	1	○ ○
県立磐井病院 (P34)	● ● ● ● ● ● ● ●	315	2,369	3,010	25	3	○ ○
他連携施設 (県内外)		【県内】盛岡赤十字病院、盛岡赤十字病院、盛岡市立病院 【県外】八戸赤十字病院					

12 放射線科

P39 岩手医科大学附属病院	岩手医科大学連携病院群 放射線科専門研修プログラム	研修期間 3年	募集人数 3名				
基幹病院／連携施設	研修可能なサブ領域	病床数	外来数	入院数	指導医数	福利厚生 保育 宿舎	
	診断 治療						
県立中央病院 (P32)	● ●	685	33,750	4	6	○ ○	
県立中部病院 (P33)	● ●	434	8,753	116	1	○ ○	
県立二戸病院 (P36)	● ●	253	2,901	—	1	○ ○	
他連携施設 (県内外)		【県内】盛岡赤十字病院、岩手県対がん協会 【県外】東北大学病院、八戸赤十字病院、那須赤十字病院					

東北大学病院	東北大学病院放射線科専門研修プログラム	研修期間 3年	募集人数 9名				
基幹病院／連携施設	研修可能なサブ領域	病床数	外来数	入院数	指導医数	福利厚生 保育 宿舎	
	診断 治療						
県立中部病院 (P33)	● ●	434	8,753	116	1	○ ○	
県立胆沢病院 (P33)	● ●	346	1,852	—	1	○ ○	
県立磐井病院 (P34)	● ●	315	5,499	102	2	○ ○	
他連携施設 (県内)		【県内】岩手医科大学附属病院					

13 麻酔科

P32 県立中央病院	岩手県立中央病院 麻酔科専門研修プログラム	研修期間 4年	募集人数 4名									
基幹病院／連携施設	研修可能なサブ領域	研修可能な専門 (学会認定)							麻酔管理 症例数	専門医	指導医数	福利厚生 保育 宿舎
	集中治療 ベイン	小児	心外	産婦	脳外	胸部	救急	緩和				
県立中央病院 (P32)	※ ●	●	●	●	●	●	●	●	4,025	10	7	○ ○
県立中部病院 (P33)		●		●	●	●	●		1,867	2	2	○ ○
県立胆沢病院 (P33)		●			●	●	●	▲	2,035	5	5	○ ○
県立磐井病院 (P34)		●		●	●	●	●	▲	1,468	4	4	○ ○
県立二戸病院 (P36)		●		●	●				356	1	1	○ ○
県立釜石病院 (P35)		●					●		646	2	1	○ ○

※施設認定未。施設認定後、サブスペ研修可。

【プログラムローテーション例】	1年	2年	3年	4年	
標準タイプ1	基幹 麻酔	基幹 麻酔 麻酔・集中治療	連携 ベイン	基幹 麻酔	
標準タイプ2	基幹 麻酔	連携 麻酔		基幹 麻酔	
標準タイプ3	基幹 麻酔		基幹 ベイン	連携 麻酔・ベイン	
標準タイプ4	連携 麻酔		基幹 麻酔		
標準タイプ5	連携 麻酔・ベイン	基幹 麻酔		基幹 集中治療	
他連携施設 (県内外)		【県内】岩手医科大学附属病院、盛岡赤十字病院、盛岡市立病院 【県外】八戸赤十字病院			

P39 岩手医科大学附属病院	岩手医科大学附属病院 麻酔科専門研修プログラム	研修期間 4年	募集人数 5名									
基幹病院／連携施設	研修可能なサブ領域	研修可能な専門							麻酔管理 症例数	専門医	指導医数	福利厚生 保育 宿舎
	集中治療 ベイン	小児	心外	産婦	脳外	胸部	救急	緩和				
県立中央病院 (P32)	● ●	●	●	●	●	●	●	●	4,025	9	5	○ ○
県立中部病院 (P33)		●		●	●	●			1,867	2	2	○ ○
県立胆沢病院 (P33)		●			●	●	▲	▲	2,035	4	3	○ ○
県立磐井病院 (P34)		●		●	●	●	●	▲	1,468	3	1	○ ○
県立二戸病院 (P36)		●		●	●				356	1	1	○ ○
他連携施設 (県内外)		【県内】盛岡赤十字病院 【県外】八戸赤十字病院										

東北大学病院	東北大学病院 麻酔科専門研修プログラム	研修期間 4年	募集人数 14名									
基幹病院／連携施設	研修可能なサブ領域	研修可能な専門							麻酔管理 症例数	専門医	指導医数	福利厚生 保育 宿舎
	集中治療 ベイン	小児	心外	産婦	脳外	胸部	救急	緩和				
県立中部病院 (P33)		●		●	●	●			1,867	2	2	○ ○
県立磐井病院 (P34)		●		●	●	●	●	▲	1,468	3	1	○ ○

内科 小児科 皮膚科 精神科 外科 整形外科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 泌尿器科 脳神経外科 放射線科 麻酔科 病理 臨床検査 救急科 形成外科 リハビリテーション科 総合診療科

14 病理

P39 岩手医科大学附属病院	イーハトーヴ病理専門研修プログラム (岩手)						研修期間 3年	募集人数 2名
基幹病院 / 連携施設	組織診	迅速診断	細胞診	病理解剖	専任病理医数	病理専門指導医数	福利厚生 保育 宿舎	
県立中央病院 (P32)	7,249	423	7,245	13	7	2	○ ○	
県立中部病院 (P33)	3,803	57	4,030	2	0	0	○ ○	
県立胆沢病院 (P33)	4,154	36	1,695	1	0	0	○ ○	
県立磐井病院 (P34)	3,108	68	4,127	0	1	0	○ ○	
県立千厩病院 (P37)	693	17	370	0	0	0	○ ○	
県立大船渡病院 (P35)	2,266	43	5,165	1	1	1	○ ○	
県立釜石病院 (P35)	1,142	9	1,365	0	0	0	○ ○	
県立宮古病院 (P34)	2,343	25	2,193	2	0	0	○ ○	
県立久慈病院 (P36)	1,619	2	1,534	0	0	0	○ ○	
県立二戸病院 (P36)	1,476	22	1,477	1	0	0	○ ○	
他連携施設 (県内外)	【県内】盛岡赤十字病院、奥州市総合水沢病院 【県外】八戸赤十字病院、がん研究会有明病院							

東北大学病院

東北大学病院病理科専門研修プログラム						研修期間 3年	募集人数 1名
基幹病院 / 連携施設	組織診	迅速診断	細胞診	病理解剖	専任病理医数	病理専門指導医数	福利厚生 保育 宿舎
県立中央病院 (P32)	7,249	423	7,245	13	7	2	○ ○
県立磐井病院 (P34)	3,108	68	4,127	0	1	0	○ ○
県立大船渡病院 (P35)	2,266	43	5,165	1	1	1	○ ○

15 臨床検査

P39 岩手医科大学附属病院	岩手医科大学臨床検査専門研修プログラム						研修期間 3年	募集人数 1名
基幹病院 / 連携施設	研修可能な専門					指導医数	福利厚生 保育 宿舎	
	感染症	超音波	臨床遺伝	人間ドック	内視鏡			
県立中央病院 (P32)	●	●	●	●	●	1	○ ○	

16 救急科

P32 県立中央病院	岩手県立中央病院救急科専門研修プログラム						研修期間 3年	募集人数 1名
基幹病院 / 連携施設	研修可能な専門					入院数	指導医数	福利厚生 保育 宿舎
	集中治療	熱傷	外傷	標榜時間内	標榜時間外			
県立中央病院 (P32)	●	●	●	3,531	14,353	—	3	○ ○
県立宮古病院 (P34)		●	●	1,327	6,684	—	1	○ ○
県立大船渡病院 (P35)	●	●	●	2,988	9,953	—	1	○ ○

【プログラムローテーション例】

	1年		2年		3年	
標準タイプ	基幹 ER ICU 外科系	地域 ER	基幹 ER ICU 小児科救急等	基幹 ER ICU	地域 ER	

他連携施設 (県内外) 【県内】岩手医科大学附属病院、西和貫さむらひ病院 【県外】青森県立中央病院

P39 岩手医科大学附属病院	岩手医科大学附属病院救急科専門研修プログラム						研修期間 3年	募集人数 5名
基幹病院 / 連携施設	研修可能な専門					入院数	指導医数	福利厚生 保育 宿舎
	集中治療	熱傷	外傷	標榜時間内	標榜時間外			
県立中央病院 (P32)	●	●	●	3,531	14,353	—	1	○ ○
県立中部病院 (P33)			●	2,106	8,963	—	1	○ ○
県立磐井病院 (P34)	▲	▲	▲	3,728	8,321	—	3	○ ○
県立大船渡病院 (P35)	●	●	●	2,988	9,953	—	0	○ ○
県立久慈病院 (P36)	●	▲	●	1,142	7,222	—	2	○ ○

他連携施設 (県内) 【県内】盛岡赤十字病院

17 形成外科

P39 岩手医科大学附属病院	岩手医科大学形成外科研修プログラム						研修期間 4年	募集人数 3名				
基幹病院 / 連携施設	研修可能な専門領域						病床数	外来数	入院数	手術数 (全取)	指導医数	福利厚生 保育 宿舎
	皮膚腫瘍	小児	頭蓋頸顔面	熱傷	手外科	美容外科						
県立中央病院 (P32)	●	●	●	●	●		685	4,010	882	61	1	○ ○
県立中部病院 (P33)	●		▲				434	2,605	1,528	89	1	○ ○
県立磐井病院 (P34)	●	●	●	●	●		315	3,764	1,071	35	1	○ ○
県立釜石病院 (P35)	●						272	2,539	261	13	1	○ ○
県立宮古病院 (P34)	●		●	●			334	3,176	1,425	24	1	○ ○
県立久慈病院 (P36)	●	▲	●			▲	334	4,203	125	13	1	○ ○

他連携施設 (県外) 【県外】かづの厚生病院、青森県立中央病院、奈良県立医科大学附属病院、岡山大学病院、日本医科大学附属病院、東京医科歯科大学医学部附属病院

18 リハビリテーション科

P39 岩手医科大学附属病院	岩手県立リハビリテーション科専門研修プログラム						研修期間 3年	募集人数 3名
他連携施設 (県内)								
【県内】岩手県立療育センター、いわてリハビリテーションセンター、南昌病院、栃内第二病院、東八幡平病院								

内科
小児科
歯科
精神科
外科
整形外科
産婦人科
眼科
耳鼻咽喉科
泌尿器科
脳神経外科
放射線科
麻酔科
病理
臨床検査
救急科
形成外科
リハビリテーション科
総合診療科

19 総合診療科

県内統一プログラム

岩手県の総合診療科プログラムは、2022年度から、県立病院、岩手医科大学、その他病院の各プログラムを統合した「県内統一プログラム」となります。自由度の高いプログラム内容で、各連携施設での研修が可能です（基幹登録施設は岩手医科大学附属内丸メディカルセンター）。

※これまでの各プログラムは、現在研修中の専攻医終了まで暫定的に残ります。

基幹施設 / 連携施設	研修可能な領域						病床数	指導医数	福利厚生	
	総診Ⅰ	総診Ⅱ	内科	救急	小児	選択			保育	宿舎
県立中央病院 (P32)		●	●	●	●		685	2	○	○
県立中部病院 (P33)		●	●	●	●	●	434	2	○	○
県立遠野病院 (P36)	●						122	0		○
県立東和病院 (P36)	●						68	2		○
県立胆沢病院 (P33)		●	●				346	8	○	○
県立江刺病院 (P37)	●						133	1	○	○
県立磐井病院 (P34)		●	●	●	●		315	3	○	○
県立千厩病院 (P37)	●						152	2		○
県立大東病院 (P37)	●						40	3		○
県立南光病院 (P35)						●	359	0	○	○
県立大船渡病院 (P35)			●	●	●		489	3	○	○
県立高田病院 (P37)	●						60	1		○
県立釜石病院 (P35)	●						272	0	○	○
県立宮古病院 (P34)			●		●		334	2	○	○
県立山田病院 (P38)	●						50	0		○
県立久慈病院 (P36)		●	●	●	●		334	1	○	○
県立二戸病院 (P36)			●		●		253	1	○	○
県立一戸病院 (P38)	●					●	199	0		○
県立軽米病院 (P38)	●						98	1		○

県内【基幹】岩手医科大学附属内丸メディカルセンター

【連携】岩手医科大学附属病院、盛岡赤十字病院、盛岡市立病院、北上済生会病院、国保藤沢病院、西和賀さわうち病院、国保葛巻病院、国保種市病院、国保まごころ病院、八幡平市立病院、済生会岩泉病院、奥州病院、川久保病院、国保山形診療所、国保浄法寺診療所、エールクリニック八幡平、もりおか住診ホームケアクリニック、盛岡医療生協さわやかクリニック

県外【連携】八戸市立市民病院

プログラムの特徴

岩手では、医療機関の施設母体の垣根を超えて全人的医療を提供し、地域を守るための「良医」を育てるためのネットワークが構築されています。

このネットワークの強みを、総合診療医の育成においても十分に発揮させるべく、総合診療医学分野が教育面やキャリア形成でのサポート・ハブ・調整機能の役割を担い、地域医療・総合診療に関わる岩手の主要な医療機関の総力を結集したプログラムです。

「オール岩手」で専攻医の成長を支えることを目指し、県立病院も連携した県内プログラムです。

★専攻医ファースト

- 働く場所は専攻医の希望が優先。
- いわゆる「入局」ではないシステム。

★確実な専門医取得

- 総合診療専門医の取得に責任を持ちます。
- 新・家庭医専門医、病院総合診療医習得をサポートします。

★オール岩手

- 県内の各施設で研修可能。
- キャリア形成、ワークライフバランスをサポート。
- オンラインで、県内各地の指導医から指導を受けられます。

※内科専門医・救急専門医とのダブルボードが認められています。

研修内容・方法

- 総合診療Ⅰ
診療所・地域病院で外来・在宅医療・地域包括ケア・予防医療を中心に研修します。
- 総合診療Ⅱ
急性期基幹病院の総合診療科に所属して研修します。
- 総合診療Ⅰ、Ⅱそれぞれ6ヵ月以上、合計18ヵ月以上の研修期間が必要です（総合診療Ⅱが内科指導可能なら、内科の研修として扱うことも可能です）。
- 小児科、救急はそれぞれ3ヵ月以上必要です。
- 実践的・主体的に診療を担いながら、月1回の振り返り「レジデントデイ」をWeb Meetingも利用し継続して研修をサポートし、課題抽出・目標設定を繰り返しながら3~4年間の研修を行います。

プログラムローテーション例

4年コース(岩手医大で臨床研修の後に本プログラムで研修する場合)

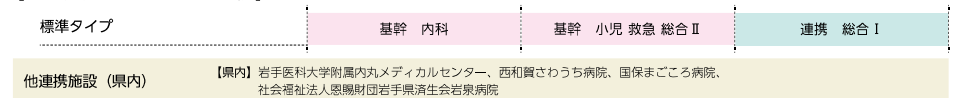
年目	施設名	4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月											
		領域											
1年目	施設名	岩手県立中央病院 (or中部病院、胆沢病院、磐井病院)											
	領域	総合診療Ⅱ											
2年目	施設名	岩手県立中央病院 (or中部病院、胆沢病院、磐井病院)											
	領域	内科											
3年目	施設名	岩手県立中央病院 (or中部病院、胆沢病院、磐井病院)						藤沢病院、さわうち病院、東和病院など					
	領域	小児科		救急科				総合診療Ⅰ					
4年目	施設名	藤沢病院、さわうち病院、まごころ病院など						中部病院:緩和ケア科			県外施設研修		
	領域	総合診療Ⅰ						選択研修			選択研修		

※1~2日/月 内丸メディカルセンターでの外来研修+レジデントデイ=振り取り・課題抽出を適年で総括します。

※上記はあくまで一例であり、プログラムの修了要件を満たすことを前提に、専攻医のコースに合わせて個々に対応します。3年で修了することも可能です。

基幹施設 / 連携施設	研修可能な領域						病床数	指導医数	福利厚生	
	総診Ⅰ	総診Ⅱ	内科	救急	小児	選択			保育	宿舎
県立中部病院 (P33)		●	●	●	●		434	1	○	○
連携施設 県立東和病院 (P36)	●						68	2		○
県立胆沢病院 (P33)		●	●				346	5	○	○

【プログラムローテーション例】



他連携施設 (県内) 【県内】岩手医科大学附属内丸メディカルセンター、西和賀さわうち病院、国保まごころ病院、社会福祉法人恩賜財団岩手県済生会岩泉病院

基幹施設 / 連携施設	研修可能な領域						病床数	指導医数	福利厚生	
	総診Ⅰ	総診Ⅱ	内科	救急	小児	選択			保育	宿舎
県立釜石病院 (P35)					●		272	0	○	○

内科
小児科
精神科
外科
整形外科
産婦人科
眼科
耳鼻咽喉科
泌尿器科
脳神経外科
放射線科
麻酔科
病理
臨床検査
救急科
形成外科
リハビリテーション科
総合診療科

県立中央病院

MAP No. 01



基幹施設 内科 (P17) 産婦 (P24) 外科 (P22) 麻酔 (P27) 整形外科 (P23) 救急 (P28)

臨床研修病院

専門研修プログラム連携施設

- 病床数 / 685 床
 - 電子カルテ導入 / 有
 - 宿舎 / 有
 - 保育施設 / 有
 - 診療科目
- 総合診療、血液内、腎臓リウマチ、呼吸器内、消化器内、循環器内、神経内、がん化学療法、消化器外、乳腺内分泌外、心臓血管外、整形外科、脳神経外、皮膚科、泌尿器、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉、呼吸器外、小児外、形成外、小児科、精神科、放射線診断 / 治療科、ペイン、麻酔、ICU、病理診断、歯科口腔外

基本領域 (連携施設)	内 科	小 児 科	皮 膚 科	精 神 科
	外 科	産 婦 人 科	眼 科	耳 鼻 咽 喉 科
	泌尿器科	脳神経外科	放射線科	麻 酔 科
	臨床検査	救急科	形成外科	リハビリ
				総合診療

専門診療・救急医療・地域医療を支えるプロフェッショナルの育成をします

当院は、多彩な専門診療科 (30 診療科)、170 名を超える医師 (臨床研修医除く) により高度急性期医療を推進しています。岩手県全域を対象に先進・高度・特殊医療を提供しながら「救急車を断らない」を掲げ年間 8,000 台を超える救急車の受け入れを行っており、毎晩 7 人～9 人と多くの医師の救急当直体制、全科オンコール体制をとり、岩手県の救急医療を支えています。また、岩手県内に 20 ある県立病院のセンター病院として、医師不足の公的病院への診療応援は大きな役割のひとつとなっています。このように、高度医療・救急医療・地域医療を支え、岩手県民にとってなくてはならない病院であり続けることを目指しています。その中で、専攻医は大きな役割を果たします。自らのサブスペシャリティを目指すに申し分ない症例数のもと研鑽を積み、救急で初療を行う臨床研修医の司令塔として活躍しながら、臨

床研修で培ったプライマリ・ケア能力を活かして地域の応援診療を行い、プロフェッショナルな医師を目指すことができます。当院では、内科・外科・産婦人科・整形外科・救急科・麻酔科の6つが基幹研修プログラムを有しており、令和5年度に専門研修を開始する専攻医は19名となっています。また、当院が基幹施設ではない領域については、ほかの基幹施設の連携施設となっており、当院での専門研修が可能です。令和5年度は、総合診療科や泌尿器科といった他の基幹診療プログラムに属する専攻医が当院で研修を行います。このように、基幹プログラムを持つ施設にこだわらない専門研修、また、連携施設をメインとした専門研修も可能であり、専攻医の希望に合わせ多彩な研修方法を提案いたします。ぜひ、当院での専門研修に励む専攻医たちの姿を一度見にいらしてください。

病院の特徴

PICK UP 内科系

腎臓・透析・リウマチ専門医がいる腎臓リウマチ科、東北最多の心臓カテーテル治療件数を誇る循環器内科、全国的にも稀な血管内治療専門医がいる脳神経内科、治療施設が少ない血液疾患患者を各地から受け入れる血液内科、最新薬物療法を行うがん化学療法科、総合診療科は臓器別診療で対応できない発熱疾患診療も受け入れし、呼吸器内科は肺がん症例では県内のセンター的役割を果たし、消化器内科では食道～大腸まで幅広く診療しています。

PICK UP 外科系

消化器・呼吸器・小児・心臓血管・整形・形成・脳神経・乳腺内分泌と専門分野ごとに細分化されており、それぞれ症例数も多く、東北有数の実績を誇ります。カンファレンスも充実しており、内科、麻酔科、放射線、病理といった診療科の垣根を越えたカンファレンスを密に行います。救急車を断らない方針から、24 時間 365 日の手術に対応する手術室は 12 室、手術件数は年間 5,000 件を超えます。

PICK UP 中央部を支える医療体制

年間 5,000 件超の手術を支える麻酔科医 17 名、小児科は総合的な地域小児科診療を重点に高度専門医療まで、産婦人科は正常分娩～ハイリスク分娩、良性・悪性腫瘍まで産婦人科全般診療を行い、救急科は年間 8,000 台超の救急車 (盛岡保健医療圏の約 45%) を受け入れ、各診療科専門医と共に救急医療を支えます。放射線診断・治療科では読影の基礎から I V R、また最新のリアック・IMRT による治療も行います。

お問い合わせ先

担当：業務企画室 専門研修担当
〒020-0066 盛岡市上田一丁目4番1号

TEL : 019-653-1151 (代)
E-mail : gyomu@chuo-hp.jp
https://www.chuo-hp.jp



県立中部病院

MAP No. 02

多くの臨床経験はもちろん、病院全体で専攻医を育てる環境整備に力をいれています

当院は岩手県のほぼ中央、中部医療圏の地域中核病院で、県立花巻厚生病院と県立北上病院が合併して2009年4月に開院した病院です。中部圏の急性期医療を担うほか、周産期からがん治療・緩和まで幅広く専門的な医療を実践しています。

当院では19の基本領域のうち、内科と総合診療科の2領域を基幹施設として登録しており、研修期間3年間のうち1年間は連携施設での研修を行います。また、耳鼻科、精神科、リハビリテーション科などを除く15領域は連携施設として登録しており、幅広く基本領域での専門研修が可能です。

PICK UP 内科・総合診療

内科専門研修では、当院内科系診療科で2年間専門研修を行い、3年目は連携施設・特別連携施設で研修を行います。内科専攻研修一般型とサブスペシャリティ重点型のコースがあります。

総合診療専門研修では、当院と中部・胆江圏域内の連携施設において、総合診療専門研修Ⅰ・Ⅱを計18ヶ月、内科研修12ヶ月、小児科・救急科研修を各3ヶ月行います。

県立胆沢病院

MAP No. 05

病気を診るのではなく人を診る ～愛を持って地域医療に貢献します～

当院では現在の臨床研修制度が始まる以前から3-5年の臨床研修を行ってきました。後期研修医は自らの責任で膨大な数の症例に向かい悩みながらも、先輩に教わり後輩に指導しながら切磋琢磨できる環境です。良い臨床医をたくさん育ててきた屋根瓦式教育システムと、「まずはやらせてみよう」という指導医の心意気を肌で感じてください。

なんでも診てやろうという積極的な姿勢を示せば、多種多様な症例を経験することが必ずできます。やる気のある研修医の先生方、お待ちしております。

PICK UP 内科・総合診療

当院は、患者さんを病気で選ばないという理念を実践するために、内科各科が緩やかに一体となっている体制を保持、各科が連携して診療にあたる総合診療を行っています。各自が専門性を持ちながら、少なくとも一般内科・救急診療の鑑別診断は最低条件と考えています。したがって、自分の専門性を出しながら日常診療を行っていても内科専門医取得に必要な症例は自然と経験することができます。

基幹施設 内科 (P17) 総診 (P31) 臨研 連携



- 病床数 / 434 床
 - 電子カルテ導入 / 有
 - 宿舎 / 有
 - 保育施設 / 有
 - 診療科目
- 内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、血液内科、腫瘍内科、糖尿病・代謝内科、神経内科、心臓内科、外科、呼吸器外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、腎臓内科、頭頸部外科、病理科

基本領域 (連携施設)	内 科	小 児 科	皮 膚 科	精 神 科	外 科
	整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科
	脳神経外科	放射線科	麻酔科	病理	臨床検査
	救急科	形成外科	リハビリ	総合診療	

【お問い合わせ】

担当：事務局長務課 臨床研修担当
〒024-8507 北上市村崎野17丁目10番地
TEL : 0197-71-1511 (代) E-mail : EA1013@pref.iwate.jp
http://chubu-hp.com/



基幹施設 内科 (P18) 臨研 連携



- 病床数 / 346 床
 - 電子カルテ導入 / 有
 - 宿舎 / 有
 - 保育施設 / 有
 - 診療科目
- 内科、血液内科、精神科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんご科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、乳腺外科、消化器外科

基本領域 (連携施設)	内 科	小 児 科	皮 膚 科	精 神 科	外 科
	整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科
	脳神経外科	放射線科	麻酔科	病理	臨床検査
	救急科	形成外科	リハビリ	総合診療	

【お問い合わせ】

担当：事務局総務課 専門研修担当
〒023-0864 奥州市水沢字龍ヶ馬場 61 番地
TEL : 0197-24-4121 (代) E-mail : isawasenmoni@gmail.com
http://www.isawa-hp.com/



いわ い 県立磐井病院

MAP No. 07 画

黄金文化の歴史と風土を舞台に、指導医だけでなく多職種が連携して専攻医を育てます

内科の基幹施設である当院は病床数315床の地域基幹型総合病院です。ER型救急や急性期専門科を有する地域拠点病院の中で、専門各科と協働し全人的医療を展開しつつ、自己のキャリアパスの形成や地域医療に携わる実力を身につけていくことを目的としています。平泉町や一関市、盛岡市、陸前高田市、そこに居住する地域住民、各種団体、ボランティア、職員などの理解と協力のもとで研修できる環境が整っています。これまで培った後期研修医育成のノウハウと病院総合力を活かし専攻医の多様なニーズに応える研修スケジュールのアレキシビリティが特徴です。

PICK UP 内科・総合診療

内科専門研修では、超高齢社会を迎えた我が国の医療事情を理解し、必要に応じた可塑性のある、地域の実情に合わせた実践的な医療も行えるように訓練します。総合診療専門研修では、地域医療を担う総合診療医、病院総合医、救急の得意な総合医など、個々のニーズに応じて様々なタイプの総合医を養成します。

基幹施設 内科 (P18) 臨研 連携



- 病床数 / 315 床
- 電子カルテ導入 / 有
- 宿舎 / 有
- 保育施設 / 有
- 診療科目
内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、神経内科、心臓血管外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、救急科、精神科

基本領域 (連携施設)					
内 科	小 児 科	皮 膚 科	精 神 科	外 科	
整形外科	産婦人科	眼 科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科
放射線科	救急科	形成外科	リハビリ	総合診療	

【お問い合わせ】
担当：臨床研修センター
〒029-0192 一関市狐禰寺字大平 17 番地
TEL: 0191-23-3452 代 E-mail: iwaihp@yahoo.co.jp
http://www.iwai-hp.com/



MAP No. 08 画 県立南光病院

症例豊富で指定医同時取得も可能
隣接の県立磐井病院との身体合併の
連携がスムーズ

児童思春期から老年期まで、精神科救急から超慢性期までと幅広い症例をじっくり経験することができます。岩手県南地区の精神科救急医療を担いスーパー救急棟を有しています。県立磐井病院が隣接し身体面の管理に恵まれ、リエゾン精神医学や緩和医療の経験も可能です。

PICK UP 精神科

クロザピン療法、m-ECT、LAI (デボ剤) の積極的な使用に力を入れています。児童外来、アルコール専門外来を行っています。コメディカルが主体となって訪問看護、デイケア、リハビリテーションに積極的に取り組んでおり、さまざまな場面で多職種によるチーム医療が力を発揮しています。現場での実践的な臨床能力を身につけるには好適な環境です。

基幹施設 精神 (P21) 連携



- 病床数 / 359 床
- 電子カルテ導入 / 有
- 宿舎 / 有
- 保育施設 / 有
- 診療科目
精神科、リハビリテーション科

基本領域 (連携施設)									
内 科	小 児 科	皮 膚 科	精 神 科	外 科					
整形外科	産婦人科	眼 科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科	放射線科			
麻酔科	病 理	臨床検査	救急科	形成外科	リハビリ	総合診療			

【お問い合わせ】
担当：事務局長
〒029-0131 一関市狐禰寺字大平 17 番地
TEL: 0191-23-3655 代 E-mail: EA1028@pref.iwate.jp
http://www.nanko-hp.net/



MAP No. 15 画 県立宮古病院

専門医研修は、風光明媚、気候穏やかな宮古で三陸の海の幸を味わってみませんか

研修期間中は、県立病院の常勤医師としての身分を保証します。女性専攻医が安心して勤務できるように、女性専用の休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室を整備しております。また、敷地内に24時間対応の院内保育所がありますので、子育てをしながらの研修も可能です。地域の急性期を担う基幹病院として、年間約3000台の救急車を受け入れていることもあり、各診療科との協力体制が出来ています。そのため、多数の通院・入院患者の疾患について幅広く経験することが可能であり、高齢化社会に対応した地域に根差した医療、病診、病病連携なども経験できます。

PICK UP いわて三陸海岸連携内科研修プログラム

「いわて三陸海岸連携内科研修プログラム」は当院が基幹施設として実施しているプログラムです。連携施設は、岩手医科大学附属病院、臨床研修病院である県立中央病院のほか6つの県立病院と県立釜石病院、県立山田病院、県立大槌病院、県立軽米病院、県立遠野病院、県立病院以外では済生会岩泉病院、国保稲荷病院で、規模の異なる病院での連携なども経験することができます。

基幹施設 内科 (P18) 臨研 連携



- 病床数 / 334 床
- 電子カルテ導入 / 有
- 宿舎 / 有
- 保育施設 / 有
- 診療科目
内科、精神科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科

基本領域 (連携施設)					
内 科	小 児 科	皮 膚 科	精 神 科	外 科	
整形外科	産婦人科	眼 科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科
放射線科	救急科	形成外科	リハビリ	総合診療	

【お問い合わせ】
担当：事務局長
〒027-0096 宮古市崎敷ヶ崎第1地割 11 番地 26
TEL: 0193-62-4011 代 E-mail: EA1005@pref.iwate.jp
http://www.miyako-hp.jp/



MAP No. 11 画 県立大船渡病院

穏やかな潮風に吹かれながら、豊富な症例を経験し、充実した研修生活を過ごしませんか



- 病床数 489 床
- 電子カルテ導入 / 有
- 宿舎 / 有
- 保育施設 / 有
- 診療科目
内科、精神科、脳神経内科、血液内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科

気仙地域の基幹病院として救命救急センターを併設し、災害拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、地域周産期母子医療センター、基幹型臨床研修病院等多くの役割を担っています。また若い職員が多くとても活気がある病院です。当院は、様々な専攻医プログラムの連携施設となっていますが、研修を通じてcommon diseaseから専門性の高い疾患まで幅広くその発症時から診断、治療、退院までのプロセスを自ら主治医として担当することができます。当院での研修は、皆様にとって将来のキャリア形成に繋がる貴重な機会になると考えており、職員一同心よりお待ちしております。

基本領域 (連携施設)	
内 科	小 児 科
外 科	整形外科
産婦人科	眼 科
泌尿器科	脳神経外科
病 理	救急科
総合診療	

【お問い合わせ】 担当：事務局長
〒022-8512 大船渡市大船渡町字山馬越 10 番地 1
TEL: 0192-26-1111 代 E-mail: EA1002@pref.iwate.jp
http://oofunato-hp.com/



MAP No. 13 画 県立釜石病院

院内及び地域内チーム医療により専門的かつ広範な医療技術習得が可能です



- 病床数 272 床
- 電子カルテ導入 / 有
- 宿舎 / 有
- 保育施設 / 有
- 診療科目
内科、循環器内科、消化器内科、脳神経内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、麻酔科、放射線科

地域内唯一の中核病院として急性期から慢性期の多種多様な症例を経験することで、より広い視野にたった医療の実際を身につけることができます。

また、院内の指導のみならず、地域内の釜石医師会の強力なバックアップで、より安心して丁寧な研修環境が構築されています。

基本領域 (連携施設)		
内 科	小 児 科	
外 科	整形外科	
泌尿器科	脳神経外科	
病 理	総合診療	

【お問い合わせ】 担当：事務局長
〒026-8550 釜石市甲子町第10地割 4 8 3 番地 6
TEL: 0193-25-2011 代 E-mail: resident@kamaishi-hp.com
http://www.kamaishi-hp.com/



【研究】臨床研修病院 【基幹】専門研修プログラム基幹施設 【連携】専門研修プログラム連携施設

県立久慈病院

MAP No. 17 久慈 臨研 連携

地域住民、各種団体、ボランティアや
当院の全職員などの理解と協力のもとで研修できる



- 病床数 / 334 床
- 電子カルテ導入 / 有
- 宿 舎 / 有
- 保育施設 / 有
- 診療科目
- 内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、精神科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、歯科口腔外科

当院は三陸復興国立公園の北部、久慈市に位置し、人口約5万3千人の久慈医療圏の基幹病院及び救命救急センターとしての機能を担っています。高度急性期から回復期までの病床を有しており、幅広い症例が経験できます。各診療科の垣根も低く、相談しやすい体制になっています。

基本領域 (連携施設)	
内 科	小 児 科
外 科	整 形 外 科
眼 科	泌 尿 器 科
脳神経外科	病 理
救 急 科	形 成 外 科
総合診療	

【お問い合わせ】 担当：事務局長
〒028-0014 久慈市旭町第10 地割1番
TEL: 0194-53-6131 代 E-mail: ea1010@pref.iwate.jp
http://www.kuji-hp.com/



県立二戸病院

MAP No. 18 二戸 臨研 連携

地域医療に貢献しながら
専門医を目指しましょう



- 病床数 / 253 床
- 電子カルテ導入 / 有
- 宿 舎 / 有
- 保育施設 / 有
- 診療科目
- 内科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、精神科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科

当院は二戸保健医療圏のほか、青森県南部も含めた人口9万人の医療圏をカバーする地域完結型を目指す中核病院で、この地域の救急医療の大半を一手に引き受けています。地域に根ざし、なくてはならない病院で、地域医療に貢献しながら専門医としてキャリアを積むことができます。

基本領域 (連携施設)	
内 科	小 児 科
外 科	整 形 外 科
産婦人科	眼 科
泌尿器科	脳神経外科
放射線科	麻 酔 科
病 理	総合診療

【お問い合わせ】 担当：事務局長
〒028-6193 二戸市堀野字大川原毛 38 番地2
TEL: 0195-23-2191 代 E-mail: ea1014@pref.iwate.jp
https://www.ninohe-hp.net/



県立江刺病院

MAP No. 06 江刺 連携

地域の人々に愛され、
地域に根ざした病院づくりを進めています



- 病床数 133 床
- 電子カルテ導入 / 有
- 宿 舎 / 有
- 保育施設 / 有
- 診療科目
- 内科、消化器内科、循環器内科、小児科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、リハビリテーション科、麻酔科

岩手県奥州市江刺地域唯一の病院として、地域医療の中心的な役割を担っており、当地域における急性期、回復期、慢性期、更には終末期医療という全ての役割を担っています。今後高齢者が増える中、患者さんの尊厳を守る終末期医療として訪問診療や在宅での看取りもを行っています。

基本領域 (連携施設)	
内 科	外 科
総合診療	

【お問い合わせ】 担当：事務局長
〒023-1103 奥州市江刺西大通り5番23号
TEL: 0197-35-2181 代 E-mail: EA1011@pref.iwate.jp
http://www.esashi-hp.com/



県立千厩病院

せん まや MAP No. 09 千厩 連携

千厩病院には大病院では経験できない医療と
地域住民とのつながりがあります



- 病床数 152 床
- 電子カルテ導入 / 有
- 宿 舎 / 有
- 保育施設 / なし
- 診療科目
- 内科、脳神経内科、脳神経外科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、麻酔科

診療科にかかわらず患者さんのすべてを診るという方針で診療にあたっています。外来及び入院診療のほかに、訪問診療や特別養護老人ホームとの連携会議、地域住民向けの懇談会の実施など、地域・住民に密着した医療を経験できるプログラムです。

基本領域 (連携施設)	
内 科	外 科
病 理	総合診療

【お問い合わせ】 担当：事務局長
〒029-0803 一関市千厩町千厩字草津32番地1
TEL: 0191-53-2101 代 E-mail: EA1012@pref.iwate.jp
http://www.senmaya-hospital.jp



県立遠野病院

MAP No. 03 遠野 連携

地域唯一の総合的医療機関として、
診療に取り組んでいます



- 病床数 122 床
- 電子カルテ導入 / 有
- 宿 舎 / 有
- 保育施設 / なし
- 診療科目
- 内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、リハビリテーション科

当院は、連携施設ではありますが、地域唯一の総合病院として、プライマリ・ケアから二次救急・人工透析まで一手に引き受ける地域基幹病院です。地域医療に必要な幅広いノウハウを研修できる施設ですので、地域医療を志す皆様をお待ちしております。

基本領域 (連携施設)	
内 科	総合診療

【お問い合わせ】 担当：事務局長
〒028-0541 遠野市松崎町白岩14 地割74 番地
TEL: 0198-62-2222 代 E-mail: eiki-nishikawa@pref.iwate.jp
http://www.tono-hospital.com/



県立東和病院

MAP No. 04 東和 連携

地域の皆さんの立場に立ち、
より頼りにされる病院づくりを進めます



- 病床数 68 床
- 電子カルテ導入 / 有
- 宿 舎 / 有
- 保育施設 / なし
- 診療科目
- 内科、消化器内科、外科、リハビリテーション科

花巻市東和町にある当院は、東和町唯一の病院として一般診療、救急、訪問診療を実施し、症例数も豊富です。

院長をはじめ経験豊かな医師達が総合診療研修を実施しています。

基本領域 (連携施設)	
内 科	総合診療

【お問い合わせ】 担当：事務局
〒028-0115 花巻市東和町安積6区75番地1
TEL: 0198-42-2211 代 E-mail: EA1022@pref.iwate.jp
http://www.towa-hp.com/



県立大東病院

MAP No. 10 大東 連携

大病院では経験できない生活感のある医療を
経験でき、医療者としての糧が得られます



- 病床数 40 床
- 電子カルテ導入 / 有
- 宿 舎 / 有
- 保育施設 / なし
- 診療科目
- 内科、脳神経内科、外科、整形外科、リハビリテーション科

診療科にかかわらず患者さんのすべてを診るという方針で診療にあたっています。外来及び入院診療のほかに、訪問診療や特別養護老人ホームの回診、訪問看護や居宅介護事業所との連携会議、地域住民向けの健康講話の実施など、地域・住民に密着した医療を経験できるプログラムです。

基本領域 (連携施設)	
内 科	総合診療

【お問い合わせ】 担当：事務局総務担当
〒029-0711 一関市大東町大原字川内128番地
TEL: 0191-72-2121 代 E-mail: EA1020@pref.iwate.jp
http://www.daitou-hp.com



県立高田病院

MAP No. 12 高田 連携

地域の医療と健康を守るため、
地域に寄り添い、地域と共に歩みます



- 病床数 60 床
- 電子カルテ導入 / 有
- 宿 舎 / 有
- 保育施設 / なし
- 診療科目
- 内科、小児科、外科、整形外科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科

当院は東日本大震災津波により全壊し、仮設病院として入院・外来診療を行ってきましたが、平成30年3月に新病院として再開しました。

基幹病院である県立大船渡病院や地域の介護施設等との役割分担・連携をしながら、訪問診療・訪問看護による在宅医療など高齢社会に対応した医療を提供しています。

基本領域 (連携施設)	
内 科	総合診療

【お問い合わせ】 担当：事務局総務担当
〒029-2205 岩手県陸前高田市高田町字太田512番地2
TEL: 0192-54-3221 代 E-mail: ea1009@pref.iwate.jp
http://www.takata-hp.com



県立大槌病院



連携

地域の復興の一翼を担いながら
「真の地域医療・総合診療」を学ぶことができます



- 病床数 50床
- 電子カルテ導入/有
- 宿 舎/有
- 保育施設/なし
- 診療科目
内科・外科・整形外科・皮膚科・眼科・リハビリテーション科

基本領域(連携施設)
内 科 総合診療

当院は東日本大震災津波により全壊しましたが、被災から今日まで地域の医療を守り続けてきました。当地域は高齢化の進展が著しく10年後の日本の姿が今、ここにあります。地域の復興の一翼を担いながら、あたたかい職員に囲まれ「真の地域医療・総合診療」を当院で学んでみませんか？

【お問い合わせ】 担当：事務局長
〒028-1121 上閉伊郡大槌町小槌第23 地割字寺野1 番地1
TEL：0193-42-2121 代 E-mail：EA1016@pref.iwate.jp
<https://www.pref.iwate.jp/iryukyokyo/1061534/index.html>



県立山田病院



連携

患者さんとの信頼関係をもとに
安心と最善の医療を行います



- 病床数 50床
- 電子カルテ導入/有
- 宿 舎/有
- 保育施設/なし
- 診療科目
内科・外科・小児科・整形外科・眼科・リハビリテーション科

基本領域(連携施設)
内 科 総合診療

当院は東日本大震災津波により被災し、仮設診療所で外来診療を行ってまいりましたが、平成28年9月に新病院として再開しました。基幹病院である岩手県立宮古病院との役割分担により高齢者を中心とした医療を提供し、訪問診療、訪問看護による在宅医療にも取り組んでいます。

【お問い合わせ】 担当：事務局長
〒028-1352 下閉伊郡山田町飯岡第1 地割 21 番地 1
TEL：0193-82-2111 代 E-mail：ea1017@pref.iwate.jp
<http://www.pref.iwate.jp/iryukyokyo/yamada/index.html>



県立一戸病院



連携

精神科医として精神保健福祉法に基づき、
精神科臨床全般にわたって診療できます



- 病床数 199床
- 電子カルテ導入/有
- 宿 舎/有
- 保育施設/なし
- 診療科目
内科・精神科・脳神経内科・小児科・外科・整形外科・皮膚科・耳鼻咽喉科・リハビリテーション科・歯科

基本領域(連携施設)
内 科 精神科
総合診療

当院は一戸町及び近隣市町村の方々のための地域総合病院となっております。更に、精神科は県北のみならず、青森県の一部をも含めた県北の精神医療のセンター的病院として機能しており、幅広い症例を経験することができます。

【お問い合わせ】 担当：事務局総務課
〒028-5312 二戸郡一戸町一戸字砂森60 番地1
TEL：0195-33-3101 代 E-mail：EA1015@pref.iwate.jp
<http://www.ichinohe-hp.com/>



県立軽米病院



連携

一般診療から在宅医療まで実践できる、
「知識・技能・態度」を重視した研修体制



- 病床数 98床
- 電子カルテ導入/有
- 宿 舎/有
- 保育施設/なし
- 診療科目
内科・精神科・小児科・外科・リハビリテーション科

基本領域(連携施設)
内 科 総合診療

糖尿病、消化器病の学会認定施設として専門医療研修を実施するとともに、急性期医療から慢性期医療、そして在宅医療への展開を特徴とした、真の意味での地域に根差した総合診療研修を実施しています。

【お問い合わせ】 担当：事務局次長兼総務課長 又は 事務局長
〒028-6302 九戸郡軽米町大字軽米第2 地割 54 番地 5
TEL：0195-46-2411 代 E-mail：EA1019@pref.iwate.jp
<https://www.karumai-hospital.net>



OTHER HOSPITAL

岩手県内で県立病院以外のプログラムを行う施設情報

A 岩手医科大学附属病院



基幹 臨研 連携

基本領域(連携施設)	内 科	小 児 科	皮 膚 科	精 神 科	外 科
	整形外科	産婦人科	眼 科	耳鼻咽喉科	泌尿器科
	麻 酔 科	病 理	臨床検査	救 急 科	形成外科
					リハビリ 総合診療

- 病床数 / 1,000床
- 診療科目
内科、消化器内科、肝臓内科、糖尿病・代謝内科、循環器内科、内分泌内科、腎臓内科、呼吸器内科、心療内科、アレルギー科、血液・腫瘍内科、神経内科、老年内科、外科、消化器外科、肝臓外科、乳腺外科、小児外科、気管食道外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、整形外科 ほか

〒028-3695 紫波郡矢町町医大通2 丁目1 番1 号
TEL：019-651-7111
<http://www.hosp.iwate-med.ac.jp/>

C 栃内病院



基幹 連携

基本領域(連携施設) 整形外科

- 病床数 / 109床
- 診療科目
整形外科、形成外科、脳神経外科、内科、外科、麻酔科、リハビリテーション科

〒020-0864 岩手県盛岡市西仙北一丁目15-7
TEL：019-681-3575
<https://www.tochikai.com>

E 北上済生会病院



臨研 連携

基本領域(連携施設)	内 科	小 児 科	外 科	整形外科	産婦人科
	眼 科	泌尿器科	総合診療		

- 病床数 / 303床
- 診療科目
内科、神経内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、リウマチ科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、麻酔科、放射線科

〒024-8506 北上市九年橋三丁目15 番 33 号
TEL：0197-64-7722
<https://www.saiseikai-hp.or.jp>

B 盛岡市立病院



臨研 連携

基本領域(連携施設) 内 科 外 科 整形外科 眼 科 泌尿器科

- 病床数 / 268床
- 診療科目
内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、糖尿病・代謝内科、腎臓内科、外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、眼科、麻酔科、神経精神科、歯科

〒020-0866 盛岡市本宮五丁目15 番1 号
TEL：019-635-0101
<https://www.morioka-city-hosp.jp>

D 盛岡赤十字病院



臨研 連携

基本領域(連携施設)	内 科	小 児 科	皮 膚 科	外 科	整形外科
	産婦人科	眼 科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科
	病 理	救 急 科	放射線科	麻 酔 科	

- 病床数 / 438床
- 診療科目
総合内科、血液内科、精神科、神経内科、呼吸器内科、アレルギー科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、小児外科、緩和ケア科、整形外科、脳神経外科、リハビリテーション科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、病理診断科

〒020-8560 盛岡市三本柳第6 地割1 番地1
TEL：019-637-3111
<http://www.morioka-jrc.or.jp>